

身近にあった“ふるさと企業”その底力を体感！ 地元就職に向け、しっかり準備ができました。

参加のきっかけ：

将来は地元釜石を含め被災地の沿岸部で復興に携わりたいと考えていました。また、実際に地元で働くということがどういったことなのか、体験したいと思いました。一つは酒造メーカー、もう一つは建築資材の卸・小売。異なる業種でのインターンシップは、自分の職業観を広げてくれるのではという期待を持って参加しました。

参加してみて：

インターンシップ先が株式会社浜千鳥様と聞き、最初は戸惑いがありました。酒造りについては知識や経験がなく、自分が行っても迷惑かなど。しかし、実際にお伺いすると、従業員の方々が丁寧に作業の説明をしてくださったり、休憩時間に声をかけてくださったり、仕事が終わると家まで送っていただくなどとても気を遣ってくださいました。製造業の同社では「モノづくり」という仕事の面白さを体験できました。目標の一つである、地元の沿岸地域で働くということをはっきりとイメージする手助けにもなりました。これからの就活では、知識や経験がないという理由だけで業界や職種を除外せず、視野を広くして取り組んで行こうと思いました。

橋爪商事株式会社様では、今まで体験したことのない仕事に触れることで、働くということをより現実的にイメージすることができるようになりました。どの作業も一から教えてもらわなくてはできない自分のため丁寧に教えてくれたことや、昼休みの間にも声をかけてくれる方もいて、大変気持ちよく業務を体験をすることができました。役員の方からは「5年で一人前になれるように」という言葉を聞きました。人材育成に力を入れている様子が分かり、こんな会社で働きたいと思いました。

voice!
サポートデスク
スタッフから

2事業所での6日間の就業体験を通して、澤田さんがもともと持っていた「ふるさとの被災地に戻って、復興に携わりたい」という思いを、さらに具体的な仕事のイメージに落とし込むきっかけになったと感じます。それぞれ業種や仕事内容は全く違っても「復興に携わる」という点では働く人たちの思いは共通していることを体感できたことは、Uターン就職に対する思いをより強くしたのではないのでしょうか。

体験したのは！

澤田大生さん（釜石市出身）

東海大学 政治経済学部

東日本大震災で津波被害を受けた釜石市出身。被災地復興に一役買いたいと地元へのUターン就職を目指している。ラグビーの街で生まれ育ち、小学校から同競技を始め、大学でもサークル活動として熱心に取り組んでいる。

実施プログラム！

釜石市・大船渡市で2社のインターンシップを実施。

地元を拠点に異なる業種での体験を通して、様々な切り口から企業を知る機会となりました。

実習① 株式会社浜千鳥（酒類の製造・販売）

所在地：釜石市小川町3-8-7

事業内容：清酒（浜千鳥・仙人郷）、本格焼酎（燗＝ともづな）などの醸造・販売

1日目	・醸造部にて製造体験
2日目	・製造部での業務体験 ・販売促進部の業務に同行 ・社長との懇談
3日目	・営業、配送の同行 ・製造部での業務体験

実習② 橋爪商事株式会社（建設資材の卸・小売）

所在地：大船渡市大船渡町字穴ノ下向1-125

事業内容：建設資材及び工業用薬品の販売、土木・一般建築工事請負など

1日目	・会社概要説明、各部署見学 ・役員との懇談 ・管理課実習（請求書作成など）
2日目	・営業実習 （得意先同行、書類作成業務）
3日目	・仕入実習（発注業務の体験）